

## 博士論文審査要旨

### 論文審査担当者

主査	明星大学教授	杉本	明子
委員	明星大学教授	島田	博祐
委員	明星大学教授	布施	光代
委員	東都大学准教授	河辺	信秀

申請者氏名 永野 忍

論文題目 理学療法士教育課程の臨床実習教育における新しい実践モデルの構築－学生の学習意欲と臨床実習指導者の指導意欲に着目して－

申請者の修士論文では、理学療法士教育課程の臨床実習教育における学生の「学習意欲」が「社会的スキル」「自尊志向」「無気力感」「実習施設への適応感」「臨床実習指導者（以下、CE）の理学療法士実務経験年数」と関連していることが示したが、本博士論文では、さらに、(1) 臨床実習教育における学生の「学習意欲」に影響を与える要因としてこれまで検討されてこなかった学生の「睡眠」と「無気力感」の関係性について検討すること、(2) CE の指導意欲に関連する「教師効力感尺度」を開発するとともに、CE の性別・年齢・経験年数と CE の「教師効力感」の関連について実証的に解明すること、(3) これらの実証的研究結果に基づいて、学生の学習意欲向上と CE の指導意欲向上を支援するための臨床実習教育の実践モデルを構築することを目的としている。

本論文の第 1 章では理学療法士教育の臨床実習の現状について概観し、第 2 章では先行研究をレビューし、臨床実習教育における学習意欲と CE の指導意欲に関わる諸概念を定義するとともに、本論文の目的、意義および仮説（概念モデル）（研究 1）について説明している。第 3 章では、臨床実習中の学生の学習意欲に無気力感と睡眠状態は関連するのか（研究 2・3）、臨床実習中の学生の睡眠状態にどのような要因が関連するのか（研究 4）について質問紙調査法および面接法を用いて実証的に検討している。第 4 章では、CE の指導意欲を測定する「臨床実習指導者効力感尺度」を新たに開発して信頼性と妥当性を検証し（研究 5・6・7）、第 5 章では、臨床実習指導者効力感は CE の性別・年齢・経験年数の違

いによりどのような特性があるのか（研究 8）に関して質問紙調査法・面接法により質的・量的に検討している。これら 8 つの実証的研究結果に基づき、第 6 章では、学生の学習意欲と CE の指導意欲という観点から臨床実習教育において教育効果を高めるための新しい臨床実習教育実践モデルを提言している。

本論文は、8 つもの実証的研究から構成され、各々の研究のデザイン、方法、解析手法は適切であり、提示された結果は明確で信頼性・妥当性も高い。また、学生側の学習意欲だけでなく、指導者側の教育意欲をも考慮した教師効力感尺度を作成した点において、理学療法士教育研究の分野において新規性がある。さらに、実証的研究結果に基づいて臨床実習教育の実践モデルを構築し、理学療法士教育に対する新しい実践的提言も行っており、教育的意義も高いと考えられる。

ゆえに、本研究は博士（教育学）の学位を授与するに十分価値あるものと認められる。

#### （試験および試問の結果の要旨）

博士論文審査委員会において、本論文が博士（教育学）の学位を授与する価値があるかについて慎重に審査した結果、本論文における研究のデザイン・方法・結果の妥当性、当該研究分野における研究の新規性および教育的意義等において優れていると判断されたため、合格と判定した。